

九州生乳販連会報



TOPICS

酪農情勢報告	1
令和3年度増産奨励金交付事業の実施見送りについて	2
令和3年度会員別生乳受託販売数量	3
令和3年度販売状況について	3
令和3年度月別受託生乳検査成績	4
激甚災害に係る見舞金のご報告	4
農林水産省「持続的な畜産物生産の在り方検討会」中間とりまとめについて	5
特別寄稿 生乳共販制度と指定団体の果たす役割について	6
酪農理解醸成・牛乳消費拡大対策事業 お知らせとご報告について	8
新聞広告を掲載しました	10
特定家畜伝染病防疫指針が一部改正されました	12

酪農情勢報告

1. 九州の生乳出荷戸数

令和3年9月の生乳出荷戸数は1,210戸で、令和3年3月時点の1,227戸と比較すると17戸減少しています。

2. 九州の乳用種雌牛飼養頭数と出生頭数

23カ月令以下の頭数は前年を下回った推移が続く一方、24カ月令以上の頭数はほぼ前年並みで推移しており、総頭数では前年を下回った推移となっています(表1)。

表1 乳用種雌牛飼養頭数 (単位:頭)

		7月	8月	9月
23カ月令以下		28,271	28,300	28,093
	増減	-1,500	-871	-903
	前年比	95.0%	97.0%	96.9%
24カ月令以上		74,874	75,171	75,277
	増減	-58	76	59
	前年比	99.9%	100.1%	100.1%
総頭数		103,145	103,471	103,370
	増減	-1,558	-795	-844
	前年比	98.5%	99.2%	99.2%

注:Jミルクホームページより

出生総頭数は、7月は前年を上回った一方6、8月は前年を下回り、6～8月合計では前年を上回りました。そ

の内訳として、乳用種雌および乳用種雄はほぼ前年並みとなり、交雑種が前年を上回っています(表2)。

表2 出生頭数 (単位:頭)

		6月	7月	8月
総頭数		2,638	4,166	5,000
	増減	-210	498	-41
	前年比	92.6%	113.6%	99.2%
うち、乳用種雌		596	1,028	1,273
	増減	-91	79	-7
	前年比	86.8%	108.3%	99.5%
うち、乳用種雄		301	609	712
	増減	-13	83	-59
	前年比	95.9%	115.8%	92.3%
うち、交雑種		1,172	1,990	2,412
	増減	-178	235	-23
	前年比	86.8%	113.4%	99.1%

注:Jミルクホームページより

3. 生乳需給

(1) 生乳受託販売数量

7月は、昨年より早い梅雨明けの影響で落ち込みが見られ、前年を下回りましたが、8月は一転、中旬の豪雨災害を伴う長雨で気温の低い日が続いたことが影響し、前年を大きく上回りました。また、9月も同様に前年を上回りました。

同期間中の都府県および北海道の生乳受託販売数量も前年を上回り、全国でも前年を上回りました(表3)。

(2ページへ続く)

表3 生乳受託販売数量

(単位: t、%)

	7月	8月	9月
九州	48,041	47,463	46,314
前年比	98.6%	104.6%	101.8%
都府県	253,164	247,725	242,893
前年比	99.6%	103.5%	103.2%
北海道	351,146	347,701	337,618
前年比	102.3%	102.6%	103.9%
全国	604,310	595,426	580,511
前年比	101.2%	103.0%	103.6%

注: 中央酪農会議 用途別販売実績(速報)より

注: 公共除く。ただし、都府県の内訳として中国のみ公共含む。

表4 用途別販売数量

(単位: t、%)

	用途	7月	8月	9月
九州	飲用 (前年比) (前々年比)	35,067 96.6% 101.9%	33,291 100.3% 101.9%	35,759 102.5% 105.0%
	はつ酵乳 (前年比) (前々年比)	7,795 101.6% 96.1%	7,299 97.7% 92.3%	7,177 99.9% 92.6%
	脱脂粉乳・バター等 (前年比) (前々年比)	2,851 114.6% 93.4%	4,517 190.8% 174.7%	1,171 94.5% 164.3%
	生クリーム (前年比) (前々年比)	2,234 102.3% 95.1%	2,260 100.8% 93.8%	2,113 101.3% 99.5%
	チーズ (前年比) (前々年比)	95 127.6% 94.7%	96 121.2% 102.5%	95 100.8% 98.5%
	飲用 (前年比) (前々年比)	270,841 92.3% 99.6%	262,593 93.8% 98.2%	279,611 96.1% 98.3%
	はつ酵乳 (前年比) (前々年比)	39,993 98.2% 97.0%	39,188 97.8% 97.4%	37,122 97.8% 96.9%
	脱脂粉乳・バター等 (前年比) (前々年比)	143,112 116.1% 108.7%	149,918 122.1% 128.1%	123,284 127.0% 133.4%
	生クリーム (前年比) (前々年比)	113,242 104.6% 100.7%	107,991 105.0% 98.1%	106,262 103.1% 99.3%
	チーズ (前年比) (前々年比)	37,123 117.4% 112.5%	35,737 109.6% 111.3%	34,233 110.3% 111.4%
全国	飲用 (前年比) (前々年比)	270,841 92.3% 99.6%	262,593 93.8% 98.2%	279,611 96.1% 98.3%
	はつ酵乳 (前年比) (前々年比)	39,993 98.2% 97.0%	39,188 97.8% 97.4%	37,122 97.8% 96.9%
	脱脂粉乳・バター等 (前年比) (前々年比)	143,112 116.1% 108.7%	149,918 122.1% 128.1%	123,284 127.0% 133.4%
	生クリーム (前年比) (前々年比)	113,242 104.6% 100.7%	107,991 105.0% 98.1%	106,262 103.1% 99.3%
	チーズ (前年比) (前々年比)	37,123 117.4% 112.5%	35,737 109.6% 111.3%	34,233 110.3% 111.4%

注: 中央酪農会議 用途別販売実績(速報)より

(2) 生乳販売状況

7～8月は、昨年が夏休み短縮により学乳向けが大幅に増加し、巣籠り需要の継続により市乳向けも好調でしたが、今年は学乳向けが通常に戻り、新型コロナウイルス感染者の急増で業務用需要が減少、さらに8月は季節外れの長雨・冷涼な気候により市乳向けも停滞し、脱脂粉乳・バター等向けが大幅に増加しました。9月は、域内需要の停滞が続いていたため域外で飲用化を行い、脱脂粉乳・バター等向けは前年を下回りました。

全国の生乳販売状況については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて飲用向けが前年を大幅に下回り、脱脂粉乳・バター等向けが大きく増加しました(表4)。

4. 今後の生乳需給について

今夏は東京オリンピックの開催等もあり、需要の回復が期待されましたが、新型コロナウイルス感染拡大と悪天候により需要が低調に推移し、全国的に脱脂粉乳・バター等向けが増加した結果、乳製品在庫はさらに積み増されました。9月末で全国的に緊急事態宣言等の制限措置は解除されましたが、その後も需要の回復は見られていません。

こうした中、(一社)中央酪農会議・(一社)日本乳業協会・(一社)Jミルクは10月20日、年末年始の処理不可能乳発生回避に向けた緊急的な取り組みを呼びかける文書を連名で発出しました。まだ具体的には明らかになっていない部分もありますが、今後こうした動きを注視し、処理不可能乳発生回避に向けて一致団結して円滑な需給調整・余乳処理が行えるよう、会員・乳業者・全国連等と連携を取り、九州としての対応を検討してまいります。

令和3年度増産奨励金交付事業の実施見送りについて

令和3年5月13日付け発行の会報74号でご案内しました、令和3年度増産奨励事業のうちの増産奨励金交付事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により急激に生乳需給が悪化している状況を受け、9月27日開催の令和3年度第9回理事会において実施を見送ることを決定しました。

今後の生乳需給への対応を慎重に検討していくと同時に、生乳生産基盤の維持・強化に向けた取組は今後も必要であると考え、令和4年度以降の実施につきましては継続して協議検討していく所存ですので、何卒ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、生乳増産奨励事業のうちの乳用牛繁殖改善事業(PAGs検査への助成)については、繁殖改善を目的としていることから、予定どおり実施いたしますので是非ご活用ください。

令和3年度会員別生乳受託販売数量

(単位: t、%)

	ふくおか県酪協		佐賀県農協		長崎県酪連		熊本県酪連		大分県酪協		宮崎県経済連		鹿児島県酪協		合 計	
	実 績	前年比	実 績	前年比	実 績	前年比	実 績	前年比	実 績	前年比	実 績	前年比	実 績	前年比	実 績	前年比
4-6計	18,989	100.0	3,737	97.2	9,427	99.6	68,635	102.9	18,482	101.7	19,093	97.9	20,258	98.7	158,621	100.9
7月	5,865	97.9	1,115	97.3	2,774	95.5	21,253	101.0	5,655	100.2	5,798	95.3	5,929	94.7	48,389	98.6
8月	5,755	103.3	1,083	102.2	2,743	101.4	20,964	106.6	5,548	104.5	5,754	103.1	5,963	103.4	47,811	104.7
9月	5,648	101.4	1,077	100.9	2,649	98.3	20,511	103.7	5,453	103.4	5,649	101.1	5,669	97.3	46,655	101.9
上期合計	36,256	100.3	7,012	98.5	17,593	99.0	131,364	103.3	35,137	102.2	36,295	98.8	37,819	98.5	301,476	101.3

令和3年度販売状況について

用途別生乳販売実績

(単位 数量:t、前年比:%、単価:円/kg)

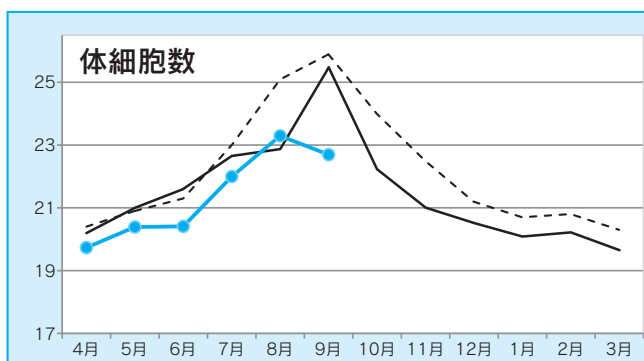
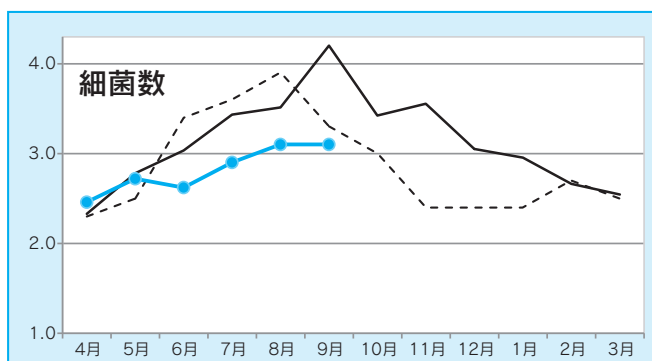
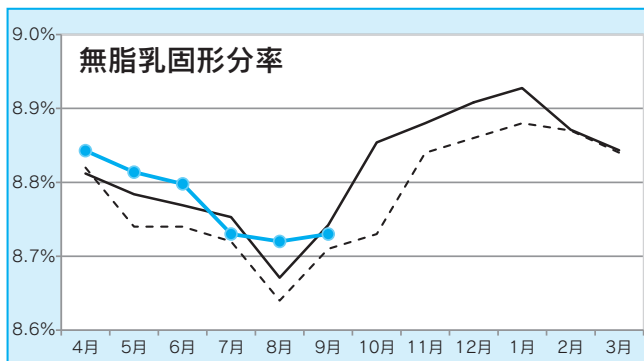
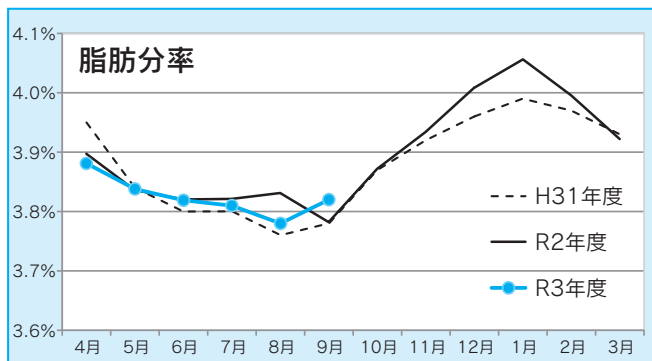
用 途		7月			8月			9月			第2四半期計			3年度累計		
		数 量	前年比	単価	数 量	前年比	単価	数 量	前年比	単価	数 量	前年比	単価	数 量	前年比	単価
飲用等向け	域内飲用向け	26,269	96.2	114.980	27,360	100.9	114.289	25,723	96.8	115.598	79,351	98.0	114.968	153,767	98.0	115.068
	学校給食向け	2,900	69.3		354	23.8		3,976	99.2		7,229	74.7		18,932	116.6	
	域外飲用向け	6,195	120.8		5,857	120.5		6,366	138.9		18,418	126.4		44,957	107.3	
	飲用牛乳等向け計	35,364	96.6		33,570	100.3		36,065	102.6		104,999	99.8		217,657	101.2	
	はっ酵乳等向け	7,795	101.6		7,299	97.7		7,177	99.9		22,271	99.8		44,241	99.1	
	飲用等向け合計	43,158	97.5		40,869	99.9		43,242	102.1		127,269	99.8		261,897	100.8	
特定乳製品向け	脱脂粉乳・バター等向け	2,886	115.0	81.323	4,571	190.5	79.905	1,189	94.7	84.009	8,645	140.2	81.280	25,090	103.5	80.184
	クリーム等向け	2,250	102.2		2,275	100.8		2,131	101.4		6,656	101.5		13,916	105.4	
	チ ー ズ 向 け	95	127.6		96	121.2		95	100.8		285	115.4		573	109.4	
	特定乳製品向け計	5,231	109.3		6,941	146.6		3,414	99.0		15,586	120.2		39,579	104.2	
販 売 乳 量 合 計		48,389	98.6	111.341	47,811	104.7	109.298	46,655	101.9	113.286	142,855	101.7	111.293	301,476	101.3	110.488

支払乳代

(単位 金額:千円、単価:円/kg)

項 目	7月		8月		9月		第2四半期計		3年度累計	
	金 額	単価	金 額	単価	金 額	単価	金 額	単価	金 額	単価
基 本 乳 代 ①	5,387,696	111.341	5,225,570	109.298	5,285,414	113.286	15,898,680	111.293	33,309,661	110.488
脂 肪 分 加 算 金	29,873	0.617	29,470	0.616	31,116	0.667	90,459	0.633	207,199	0.687
無脂固形分加算金	39,847	0.823	39,442	0.825	40,271	0.863	119,560	0.837	275,030	0.912
成分加算金計②	69,719	1.441	68,912	1.441	71,387	1.530	210,019	1.470	482,229	1.600
季節別調整率③	110%	-	111%	-	114%	-	-	-	-	-
季節別調整金	538,770	11.134	574,813	12.023	739,958	15.860	1,853,540	12.975	1,148,206	3.809
調整後乳代④=①×③	5,926,465	122.476	5,800,383	121.320	6,025,372	129.146	17,752,220	124.268	34,457,867	114.297
販 売 手 数 料	-16,372	-0.338	-15,883	-0.332	-16,070	-0.344	-48,326	-0.338	-101,376	-0.336
生 乳 検 査 料	-5,807	-0.120	-5,737	-0.120	-5,599	-0.120	-17,143	-0.120	-36,177	-0.120
送 乳 経 費	-191,541	-3.958	-189,229	-3.958	-186,298	-3.993	-567,068	-3.970	-1,205,600	-3.999
需要者負担額(運賃補填)	3,274	0.068	2,738	0.057	3,912	0.084	9,923	0.069	18,604	0.062
C S ・ 冷 却 費	-51,853	-1.072	-48,313	-1.011	-43,815	-0.939	-143,981	-1.008	-304,235	-1.009
集 乳 経 費	-111,617	-2.307	-110,153	-2.304	-107,708	-2.309	-329,478	-2.306	-694,616	-2.304
プ ール 費 用 ⑤	-373,914	-7.727	-366,579	-7.667	-355,579	-7.621	-1,096,072	-7.673	-2,323,400	-7.707
差引乳価②+④+⑤	5,622,270	116.189	5,502,716	115.094	5,741,180	123.055	16,866,167	118.065	32,616,696	108.190

令和3年度 月別受託生乳検査成績



激甚災害に係る見舞金のご報告

令和3年5月から8月にかけて発生した豪雨が「令和三年五月十一日から七月十四日までの豪雨による災害」、「令和三年八月七日から同月二十三日までの間の暴風雨及び豪雨による災害」としてそれぞれ激甚災害に指定されました。このことから、(一社)中央酪農会議は被災酪農家の生産再開を補完的に支援するために制定された「生乳需要維持のための災害対応要領」を適用し、生乳廃棄被害を受けた地域に対する見舞金が算出されました。

九州地域は、生乳廃棄量10,127kgに対して231,201円の見舞金を受けましたので、生乳廃棄が発生した県に廃棄量に応じて下記の通り配分いたしました。

この度の自然災害にて被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

1. 令和三年五月十一日から七月十四日までの豪雨による災害について

- | | | | |
|-----------|---------|---------|--|
| (1) 生乳廃棄量 | 2,597kg | | |
| (2) 受入額 | 57,875円 | | |
| (3) 会員別配分 | 熊本県酪連 | 12,631円 | |
| | 鹿児島県酪協 | 45,244円 | |

2. 令和三年八月七日から同月二十三日までの間の暴風雨及び豪雨による災害について

- | | | | |
|-----------|----------|----------|--|
| (1) 生乳廃棄量 | 7,530kg | | |
| (2) 受入額 | 173,326円 | | |
| (3) 会員別配分 | ふくおか県酪協 | 105,883円 | |
| | 佐賀県農協 | 63,530円 | |
| | 長崎県酪連 | 3,913円 | |

農林水産省「持続的な畜産物生産の在り方検討会」中間とりまとめについて

2015年、国連は「持続可能な開発サミット」において、「人間、地球及び繁栄のための行動計画」として宣言及び目標を掲げました。SDGsという略称で知られるこの目標は、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標」であり、2020年より「行動の10年」がスタートしています。

これを踏まえて、日本では本年5月に「みどりの食料システム戦略」が策定され、農林水産分野における環境負荷軽減や持続的な食料システムの構築に向けた動きが加速しています。

畜産・酪農分野においては、農林水産省生産局畜産部長の諮問機関として「持続的な畜産物生産の在り方検討会」が設置され、具体的取組の検討がなされました。本年6月、同検討会の中間とりまとめが発表されましたのでご紹介いたします。

1 日本の畜産・酪農に対する評価

- 家畜改良による生産性向上と規模拡大による生産量増大により、経営離脱農家の生産減少分を補いながら安定的に発展し、人が食用利用できない資源を飼料作物として利用してきた。
- 畜産業は飼料、家畜、堆肥という循環型のサイクルにより成立しており、食品残さ等を利用したエコフィードや地域の未利用資源の活用においても循環型のサイクルにより成立していることから、持続可能な農業の実現に貢献している。
- 耕種農業が困難な山間地・寒冷地等、条件不利な地域での草地利用や林間放牧による土地利用、荒廃農家の有効活用、景観の維持、畜産物の流通に当たって加工が必要なことから、関連産業の裾野が広く、地域の雇用に繋がる産業であるといった観点から、農村地域の維持・活性化にも貢献している。
- 畜産物の安全確保の観点から、HACCPの考え方をとり入れた衛生管理手法の生産段階への導入に取り組むなど、安全な畜産物を国民に供給してきた。
- 都市近郊も含めた生産現場は女性や障害者の活躍の場であることや、動物の飼養管理は子どもたちの教育の場としても貢献している。
- これらのことから、畜産業は我が国における必須の産業であるといえる。

(中間とりまとめ資料「我が国で畜産・酪農に取り組む意義」より)

2 今後行うべき具体的取組

1. 家畜の生産に係る環境負荷軽減等の展開
 - (1) 家畜改良
 - (2) 飼料給与
 - (3) 飼養管理
 - (4) 家畜衛生・防疫
2. 耕種農家のニーズにあった良質堆肥の生産や堆肥の広域流通・資源循環の拡大
3. 国産飼料の生産・利用及び飼料の適切な調達の推進
4. 有機畜産の取組
5. その他畜産物生産の持続性に関する取組
6. 生産者の努力・消費者の理解醸成

今後は、具体的取組の実現に向けて補助事業等が組まれるものと思われます。

SDGsに向けた取組は、エネルギー業・製造業をはじめ様々な産業において重要視されています。畜産・酪農分野においても、産業の持続のみならず消費者のイメージアップと理解醸成、ひいては牛乳乳製品の付加価値向上を視野に入れた裾野の広い取組となるでしょう。

なお、上記とりまとめの内容は、農林水産省ウェブサイトにおいて同検討会(第1回～第3回)資料とともに公開されております。

https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l_tiku_manage/index.html#zizoku

生乳共販制度と指定団体の果たす役割について

一般社団法人中央酪農会議
事務局長 寺田 繁

1 指定団体の果たすべき役割

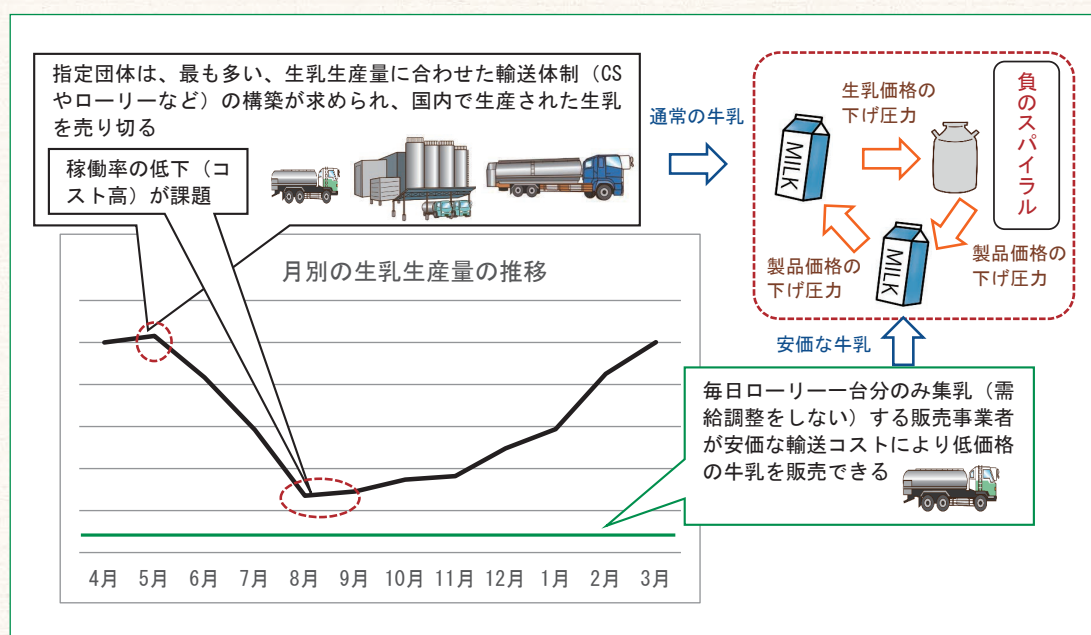
指定団体は、畜産経営の安定に関する法律に基づく組織であり、一義的な役割は、酪農家への加工原料乳への補給金及び集送乳調整金の交付業務です。しかし、その他、3つの機能が求められています。1つ目は、酪農家個々は小規模で、交渉力が弱いので、指定団体単位で交渉し、交渉力を強化すること。2つ目は、輸送コストの削減。3つ目は、複数の乳業者と取引することで、乳業者間の調整を行い、生乳を廃棄せずに売り切ることです。

2 指定団体制度を取り巻く環境（課題）

畜安法には、指定要件として「正当な理由がある場合を除き、生乳取引を拒まない」ということが定められています。このため、年間で最も生乳供給量が増加する5月や6月の乳量に合わせて、ミルクタンクローリーや運転手、CSなどの輸送体制を構築することが求められます。このことは、7、8月等の生産量の少ない時期に、稼働率が低下し、輸送コストを増加させるという側面もあります。このように、指定団体に共販事業による需給安定が求められる一方、現在、CSを所有せず、例えば、毎日ローリー一台分のみ集乳するような販売事業者にも生産した生乳の一部を販売することが可能な制度となっています。趣旨の一つとしては、「生産者にとって、仕向け先の選択肢が広がり、自ら生産した生乳をブランド化し加工販売する取組など創意工夫による所得向上の機会の創出」とされています。確かに、生産者による自由な取組を助長し、付加価値生産へのインセンティブを与えて行くことは、重要です。しかし、制度的には、こうした事業

者(毎日、ローリーで送乳可能な乳量のみ販売するような、需給調整リスクを負わない事業者)が、安価な集送乳経費を背景に牛乳を低価格で販売することが可能な仕組みとなっています。

こうして販売された牛乳が増加して行った場合、どうなるでしょうか？ 市場では、牛乳の安売り競争、そのことが乳価の引き下げ圧力になるといった負のスパイラルに陥り、国内の酪農業が衰退して行く可能性があります。



3 酪農家の皆さまへのお願い

生乳には、「液体で合乳して販売され、貯蔵性が低い」といった特性があり、生産者の価格交渉力は弱くなってしまいます。しかし、近年、指定団体は、飼料価格の高騰等の生産コストの上昇・生乳需給のひっ迫といった状況を背景に、幾度となく生乳取引価格の引き上げを実現してきました。これは、生産者の結集による90%以上の共販率があつてこそなし得たことです。現在、コロナ禍という非常に厳しい需給環境にありますが、あらためて、指定団体が果たす役割を十分にご理解頂きますよう、宜しくお願い致します。

SNSを利用した酪農理解醸成・牛乳消費拡大対策事業について

昨年度に引き続き、今年度もコロナ禍の影響によりイベントの実施が難しい状況にあります。こうした中、SNSを利用した企画として「あなたとミルクの一日一日キャンペーン」と「牛乳・乳製品料理促進キャンペーン」を実施します。

あなたとミルクの一日一日キャンペーン(11月11日～12月12日)

酪農における日々の積み重ねの大切さと関連付けた「一日一日」をテーマに、「いつも続けていること」、「これから続けたいこと」、「毎日牛乳を飲んでいること」をTwitterに投稿していただいた方の中から、抽選でLLとバターのセットをプレゼントするキャンペーンを実施します。キャンペーン名は「あなたとミルクの一日一日キャンペーン」です。九州の酪農・牛乳に対する共感や応援に繋がるよう展開してまいります。



牛乳・乳製品料理促進キャンペーン(1月中旬～2月下旬)

料理研究家「かめ代。」さんが考案した牛乳・乳製品料理をお手本に、ホットプレートを使った牛乳・乳製品料理をInstagramに投稿していただいた方の中から、抽選で豪華賞品をプレゼントするキャンペーンを実施します。多くの方に牛乳・乳製品を使ったメニューの手軽さや楽しさを体感していただくことで、牛乳・乳製品の消費拡大に繋げてまいります。

イオン九州とのタイアップキャンペーンのお知らせ(1月上旬～2月上旬)

九州内のイオン・イオン系列店舗で成分無調整牛乳を購入し、レシートを撮影して応募していただいた方の中から、抽選で豪華賞品が当たるプレゼントキャンペーンを実施します。牛乳消費拡大に繋がるよう展開していきます。

これらのキャンペーン情報は本会のホームページ、Facebook、Instagram、Twitterでも随時紹介していきますので、こちらも是非チェックしてみてください。

＼ 九販連公式サイト・SNS・YouTube公式チャンネルはこちら! ／

公式サイト	https://kyuhanren.com
Twitter	https://twitter.com/love_milk_club
Facebook	https://www.facebook.com/kyuhanren
Instagram	https://www.instagram.com/kyusyulovemilkclub/
YouTubeチャンネル	https://www.youtube.com/channel/UC7mW1zTUh1ZpvyvEXZkZWzQ



酪農教育ファームスキルアップ研修会開催中！

酪農教育ファーム活動の基本である「安全・衛生・防疫対策」の再確認とともに、ワークショップを通じたファシリテーションスキルの向上を目的として、スキルアップ研修会が全8回中7回開催されました。（11月12日時点）

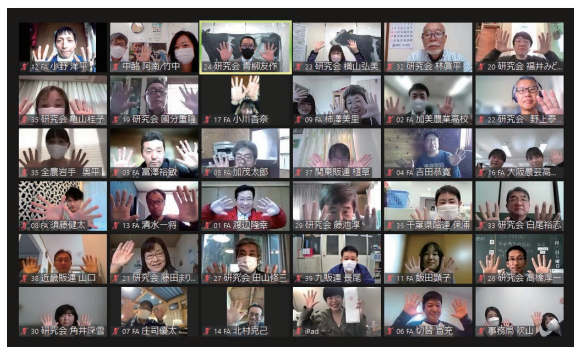
一昨年度までは全国各地で開催されていましたが、昨年度は新型コロナ禍のため中止となり、今年度は全日程オンラインでの開催となりました。

この研修会は酪農教育ファームファシリテーターを対象としており、受講することで認証更新の要件を満たすことができます。

今回のワークショップでは、NPO法人いぶり自然学校の上田融代表理事の主導により、年齢・地域・経験年数などが異なる参加者同士のコミュニケーションを取ることで、自らの酪農教育ファーム活動の意欲向上が図られました。



酪農教育ファーム実践研究集会が開催されました！

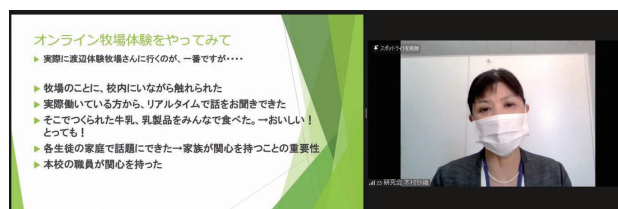


全員集合

（一社）中央酪農会議と教育関係者で構成される日本酪農教育ファーム研究会の主催で10月23日（土）に酪農教育ファーム実践研究集会が開催されました。新型コロナ禍のため昨年度に引き続きオンラインにての開催となりましたが、約40名の教育関係者と酪農関係者による活発な意見交換が行われました。

実践発表では、東京シューレ葛飾中学校の木村砂織先生によるオンライン酪農体験（北海道（阿）渡辺体験牧場とともに実施）に係る事例発表があり「オンラインでの実施は、実際に牧場を訪問することには敵わないが、新型コロナ禍における新しい活動方法として、工夫・活用することでさらなる発展が期待されるのでは」との意見を述べられました。

また、新潟県マキバのすずめ小野牧場にて模擬オンライン酪農体験を実施した後に意見交換を行い、オンライン酪農体験の良い点・改善点の共有が図られ、今後の酪農教育ファーム活動の発展と可能性を探る有意義な研修会となりました。



木村先生



青柳先生と小野さん

新聞広告を掲載しました check!

『一日、一日。』 今日という日の大切さを、牛乳は伝えています。



一日、一日。

生乳品質共励会1部最優秀賞 熊本県球磨郡 土肥倉森牧場 土肥倉森さん
牛乳から乳搾りをする土肥さん

今日という日の大切さを、
牛乳は伝えています。

牛乳は「思い通りにならない」飲み物です。
長期の保存はできません。

牛の健康状態が品質に直結するので、
365日少しも油断することができません。
だから一日一日の仕事をしていねいに、
コンスタントに積み重ねます。

人に会えず、行きたい場所へも行けない。
コロナ禍の日々もまた

「思い通りにならない」ことの連続です。

そんな中でも、九州の酪農家たちは、
思い通りにならないことのスペシャリストとして、
日々の仕事に向き合っています。

ここ熊本の土肥牧場でも、
安心で、おいしい牛乳を届けようと
牛たちの変化に細心の注意をはらいながら、
たゆまず、手を抜かず、
働く酪農家の姿がありました。

思い通りにならない日々でこそ、一日、一日。
工夫を重ねて、希望をもって、一日、一日。
笑顔で元気に、一日、一日。

牛乳が、今日という一日の
前を向く力になるために。

今日の安心。今日のおいしさ。
九州の牛乳。



九州の牛乳と風と大地から。九州 Love Milk Club www.mirutomiku.jp

生乳生産者需要確保事業 (協)農畜産業振興機構 (一社)中央酪農会議 後援

◆10月23日(土)掲載 令和2年度生乳品質共励会第1部最優秀賞:熊本県球磨郡・土井倉森牧場さん

新聞を使った酪農理解醸成活動では、コロナ禍2年目を迎え思い通りにならないことが続くなか、九州の酪農家が牛と丁寧に向き合い、安心・安全な生乳生産のために1日1日努力している姿を生活者に伝えていきます。

本年度は令和2年度生乳品質共励会最優秀賞受賞者の熊本県球磨郡・土肥倉森牧場さん、大分県速見郡・田中牧場さん、福岡県八女市・江上正生牧場さんをモデルにして、計2回掲出します。メインコピーは「一日、一日。」です。

【10月23日(土)掲出実施：熊本県球磨郡・土肥倉森牧場さん、大分県速見郡・(有)田中牧場さん、12月11日(土)予定：福岡県八女市・江上正生牧場さん】



一日、一日。

生乳品質共励会2部最優秀賞 大分県速見郡 田中牧場 田中健吾さん
飼育する田中さん親子

今日という日の大切さを、
牛乳は伝えていきます。

牛乳は「思い通りにならない」飲み物です。

長期の保存はできません。

牛の健康状態が品質に直結するので、

365日少しも油断することができません。

だから一日一日の仕事をしていねいに、

コンスタントに積み重ねます。

人に会えず、行きたい場所へも行けない。

コロナ禍の日々もまた

「思い通りにならない」ことの連続です。

そんな中でも、九州の酪農家たちは、

思い通りにならないことのスペシャリストとして、

日々の仕事に向き合っています。

ここ大分の田中牧場でも、

みんなに喜んでもらえる質の高い牛乳を届けようと、

毎日明るく、一生懸命、

力を合わせる家族の姿がありました。

思い通りにならない日々でこそ、一日、一日、

工夫を重ねて、希望をもって、一日、一日、

笑顔で元気に、一日、一日。

牛乳が、今日という一日の

前を向く力になるために。

今日の安心。今日のおいしさ。
九州の牛乳。



九州の牛と人と大地から、九州 Love Milk Club www.miluteiku.jp

生乳生産者需要確保事業 (財)農畜産業振興機構 (一社)中央酪農会議 後援

◆10月23日(土)掲載 令和2年度生乳品質共励会第2部最優秀賞：大分県速見郡・(有)田中牧場さん

(掲載済みの新聞広告は、本会公式サイト(8ページ参照)から閲覧できます)

特定家畜伝染病防疫指針が一部改正されました

令和3年10月1日 3消安第3495号

口蹄疫の発生予防及びまん延防止措置を講ずるため、農林水産省では「口蹄疫に関する特定家畜伝染病防疫指針」を作成し、公表しています。

同指針については、海外における口蹄疫の発生状況の変化、科学的知見及び技術の進展等があった場合に随時見直しを行うほか、少なくとも3年ごとに再検討を行うこととされており、本年10月1日に一部改正されました。

これを機に、関係者以外の立入制限や踏込消毒槽の設置など、発生予防への取組が徹底できているか点検しましょう。

発生予防の徹底をお願いします！

- 農場の出入口に看板を設置するなどにより、**関係者以外の立入を制限**しましょう。
- 農場に持ち込む**物品**や**出入りする車両の消毒**を徹底しましょう。
- 農場や畜舎の出入口に**踏込消毒槽**等を設置することにより、出入りする人の**靴底の消毒**を徹底しましょう。
- 従業員の方も含め、**口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控える**とともに、これらの国の**農場からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まない**ようにしましょう。
- **毎日、飼養家畜の健康観察**を行いましょう。



効果的な消毒を実施しましょう！

◎ 効果的な消毒ポイント

- 踏込消毒槽の消毒液は、汚れで効果が薄れてしまうから、**まずは汚れを落としてから消毒**すること。また、**消毒液が汚れている**ことに気づいたら、**直ちに交換**すること。
- 農場に出入りする車両の消毒では、タイヤのみを消毒するのではなく、**泥よけの内側部分や運転席の足元スペース**も可能な限り消毒すること。

推奨される
踏込消毒槽の設置方法



② **消毒液**
の槽
↑
① **水洗**
の槽

要注意

- ★ **逆性石鹼は口蹄疫の消毒薬としては不適**です。
- ★ 消毒効果が弱まるので、**酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用しない**こと。

「発生予防の徹底をお願いします！」ならびに「効果的な消毒を実施しましょう！」の出典 農林水産省 消費・安全局 動物衛生課

関係者が一丸となって家畜伝染病の発生予防及び万が一の発生時のまん延防止に万全の対策を！